

今年は見られるか残雪の富士を 三方分山～パノラマ台

実施日 2011年4月30日(土)
天候 薄曇り
リーダー 涌井 良明
参加者 涌井良明、鈴木政三、鈴木
恵美子、小村井好江、渋谷
賢寿、渋谷京子、中村友子、
伊藤久雄、石原勝正 計9名

費用 JR(H°ス)2,300円 富士急2,220円 タクシー1,520円 バス1,240円 計7,280円

タイム 河口湖駅(8:55 タクシー)精進大杉
9:30)女坂峠登山口(9:35)女坂
峠 (10:30~10:30)三方分山
(11:10~11:25)精進峠(11:55)
1246m ピーク手前(12:05~12:40
昼食)1305m(13:00) 精進湖分
岐(13:30)パノラマ台(13:06~13:50)
烏帽子岳(14:10~14:25)国道
(15:10)本栖湖BS(15:25~16:10
バス)河口湖駅(17:55)

データ 積算距離 9.47 km
移動平均速度 2.7 km
最高高度 1431m
移動時間 3時間 30分
停止時間 2時間 25分
行動時間 5時間 52分

当初予定の5月1日の降雨確率が50%となり一日前倒して実施した。

GW中の土曜日にしては電車と山は空いていた。やはりまだまだ震災の影響は残っているようだ。

精進大杉でタクシーを降り、女坂峠の道を辿る、ところどころに残る石垣は甲斐の武田信玄の頃築かれたものらしい。



いにしえの峠
然とした女坂峠
から、左へ一昨
年の王岳からの
続きの稜線を行
く、前方の盛上
りが三方分山だ、

200m程の標高差を急な登りを交えて高度を上げ山頂へ、富士山方面が開けており山頂部が雲に隠された残雪の富士が見えている。やは冬に先へ進む、すくし



150m一気に下って精進山のコルを通過、1246ピーク前の小広い台地状で薄曇りの富士と対面しながら昼食にした。南寄りだが風はやや強く予想に反して寒さも感じる。

食後、小さく下った後に1305mへ登りになる、標高差で100m程であるが午後の一のピッチつらい。精進湖への分岐を過ぎ一登りした奥にパノラマ台があった。ワオ！正面に巨大な存在感で圧倒する。



フジサンからそ周辺の山々がグルッと見渡せるビューポイントであった。残念ながら南方面ではガスと霞で

見えなかったが、この眺めは一見の価値がある。晩秋から冬の晴天を狙いたい山だ。



写真を撮って最終ピークの烏帽子山へ向かう、ほぼ下りの道を尾根の右を巻気味に進むと電波中継塔のある山頂が烏帽子山になる。バス時間を見計らって本栖湖への下山路へ、それまでのまだまだ芽吹き前の行程からミツバツツジや、萌木色にはっとさせられたり、見つけた花に大騒ぎしたりして本栖トンネルのR139に下山した。本栖湖レストハウスBSまで歩きバスへGW渋滞で2時間近くも費やして河口湖駅に着いて終了です。

(記&写真 涌井 良明)

